

# 東日本大震災 復興・支援活動ニュースレター

## カトリック仙台司教区・カリタスベース

発行人：平賀徹夫  
〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-2-12  
カトリック仙台司教区事務局  
Tel.022-222-7371 Fax022-222-7378  
1) 義援金振替口座:02260-9-2305  
名義:カトリック仙台司教区本部事務局  
2) 支援金振替口座:00170-5-95979  
名義:カリタスジャパン

全ベースの責任者やスタッフが一堂に会して、「全ベース会議」を年4回開いています。今年最初の全ベース会議の様子をご紹介します。通常、「全ベース会議」と合わせて、「仙台教区サポート会議」も開催されます。これは、被災を受けた仙台教区を支援するために、全日本の教会で支えようということから開催されているもので、各教会管区の担当司教を中心に、話し合われるものです。さらに今回は、1月に仙台教区の各小教区にお願いしたアンケートの回答から、皆さんが現在、どんな活動をしているかを、ご報告いたします。次号に、今後の新たな活動について、また、皆さんが望んでおられる後方支援についてもご紹介する予定です。

### 第28回全ベース会議 第41回サポート会議

仙台教区サポートセンター

2月17日、元寺小路教会で「第28回全ベース会議」が開催されました。岩手・宮城・福島で活動しているカリタスベースのスタッフ、全国の教区の復興支援担当の司祭、カリタスジャパン、中央協議会復興支援室、仙台教区サポートセンター、26名が出席しました。

各ベースからの報告として、宮古ベースでは、社協との話し合いの中で、宮古市は、もともとの地域の住民と、新しく災害公営住宅に入居した住民との融合を目指すため、カリタスの支援も災害公営住宅内だけにならないでほしいという意見が出されたこと、仮設住宅からの転居先で近所づきあいがうまくいかない方、仮設に残される方もいる中で、誰でも集まれる場所を作りたいという希望を持っていることが話されました。

カリタス釜石では、災害公営住宅での自治会立ち上げなど地元の復興計画に協力をしており、行政から街づくりへの提言を求められていること、建物などハード面の復興が進む中、心の復興は目で見ることができないため、支援活動の成果を可視化できない難しさを感じているという報告がありました。

いわきサポートステーションもみの木からは、昨年12月にさいたま教区で行った話し合いの中で、現在行っている仮設住宅への出張カフェは2018年3月で終了する見込みとなったこと、出張カフェでの仮設住宅訪問回数を減らし、無理のない活動にシフトしていくことが報告されました。

最後に、仙台教区サポートセンターから、2012年から場所、スタッフともに変遷を遂げてきた福島デスクの活動をこの3月で一度休止とし、これまでデスクが担ってきた福島県内の小教区や活動団体との調整の役割を仙台教区サポートセンターが引き継ぎ、今後の活動の形を探っていくとの報告がありました。



次に、司教団が、東日本大震災の復興支援活動を発災から10年となる2021年3月まで継続すると発表したことを受け、カリタスベースが地域や教会と現在どのように関わっているのか、今後のベースの存在について見通しは立っているかという質問がありました。

それに対し、大船渡ベースからは、仮設住宅での支援での出会いを活かし、災害公営住宅へ転居した後も住民とのつながりを継続していること、ベースのサロンに来ることを日課にしている住民がいること、また、大船渡教会の信徒も活動に加わっていることを挙げ、ベースが地域に根付いていることを実感しているという声がありました。

米川ベースからは、ベースがある登米市と活動先の南三陸町の両方で関係づくりをする必要があったこと、活動開始から間もなく6年が経ちますが、祭りや運動会等のイベント参加を通して、最近ようやく米川地域とのつながりが深まってきたことが話されました。

午前の部の最後には、今年3月で退職する米川ベースの向井清子さん、石巻ベースの中村愛ベース長から挨拶があり、これまでのお二人の働きにねぎらい、感謝の拍手が送られました。

昼食をはさみ、午後はベーススタッフのみの会議と、復興支援担当の方々による「仙台教区サポート会議」がそれぞれ行われました。

サポート会議では、仙台教区の10月以降の主な変化や東京、大阪、長崎の三管区からそれぞれの近況報告がありました。

また、仙台教区からのお願いとして、各教区の司教様方へ次のような依頼がありました。

2月14日、仙台教区の人事発表が行われましたが、震災以後、仙台教区では、被災がひどかった小教区には、司祭を派遣するというところで、これまで努力してきましたが、今年から、司祭の数が減ってさらに厳しい状況になり、気仙沼以北、八戸までの小教区に司祭を派遣できないこととなったという話がありました。

これにより、宮古、釜石、大船渡教会に司祭が不在ということになるため、各教区の休暇をとるという司祭たちへ、ぜひ休暇の間、仙台教区を手助けしてほしいということをお願いしてほしいとの依頼が、平賀司教からありました。

その他、2011年以降毎年開催してきた「全国会議」を、今年も行わないことが決定され、被災地の視察については各ベースからのアイデアを提示し、教区単位で随時企画してもらうことや、昨年まで仙台教区サポートセンター主催として実施されていた少人数を単位とした「被災地めぐり」を考えてほしいという要望が、出されました。

さらに、昨年、カリタスジャパンが、災害時の初動の取り組み、備えのため、災害対応の手引きをつくり、今年中にマニュアルを作成したいという話がありました。

サポート会議と同時間帯に行われたベーススタッフの会議では、緊急支援の時期を過ぎ、行政からは「被災者」として扱われなくなった住民を支援するケースが多くなった今、自分たちの活動をどのようにとらえているか、それぞれの考え、思いを分かち合う時間となりました。

#### 仙台教区内

#### 小教区の支援活動アンケート報告 その1

仙台教区内の小教区へアンケートをお願いし、2017年2月現在、どのような復興支援活動を行っており、どのような後方支援を必要としているのかなど、回答をいただきました。具体的に活動されている教会を主に紹介します。お忙しい中、回答をいただきました教会の方々、ご協力いただきましてありがとうございます。

また、今回紹介させていただく活動以外にも、福島県檜葉町に拠点を置き、活動されている聖母訪問会をはじめとして、修道会として活動していたり、個人的に様々な活動をしている方もおられます。

【現在、行われている活動】

①仮設住宅や災害復興住宅などでの活動

仮設住宅などでの傾聴を含むお茶っことやイベント活動をしている団体は、仮設住宅の閉鎖とともに減少していますが、いまなお継続的に活動されている方々がいます。

※応急仮設住宅（プレハブ住宅）の入居者数は、2017年1月末時点で、岩手、宮城、福島各県ともに1万人以上いるのが、現状です。

《宮城県》

- 西仙台教会：石巻市雄勝地区の仮設住宅訪問  
→期限を決めずに活動中。
- 八木山教会：亘理教会を会場に被災者との昼食会等開催  
→2017年4月以降の活動については協議中。

《福島県》

- いわき教会：災害公営住宅(2カ所)でのサロン開催  
→メンバーの活動が可能な限り、続けたい。
- 郡山教会：郡山市内の川内村仮設住宅、川内村訪問  
→川内村仮設が閉鎖予定のため、今後のことは模索中。
- 二本松教会：仮設住宅で支援野菜配布などの支援  
→仮設供与期限終了後は、復興住宅と関わりを持つ予定
- 野田町教会：相馬市の仮設住宅や復興長屋訪問  
→復興長屋への訪問は継続予定（活動資金がある期間）
- 原町教会：仮設住宅での手芸活動支援(4カ所)  
→3月で2カ所の仮設閉鎖予定。他2カ所は、1年は継続予定。
- 松木町教会：福島市の宮代仮設での支援活動  
→仮設住民がおられる間は、続ける予定。



亘理教会でのお茶会



仮設住民へ野菜配布

②カリタスペースなどを支援

岩手県においては、カリタスペースの活動を小教区が様々な形で支援しています。たとえば宮古ベースでは、4月以降、これまで札幌教区主導であった活動を、札幌教区と宮古教会および盛岡の教会の三者協働運営という新たな形での活動へと変化しているところもあります。宮城県においては、石巻ベースの活動をカリタス仙塩地区の方々にご協力いただけるよう、現在、調整しているところです。福島県においては、カリタス南相馬が原町教会敷地内に拠点設けたことをきっかけに、原町教会とこれまで以上に関わりが深くなるようです。加えて、CTVCが活動を支援している松木町教会の活動に関しても、カリタス南相馬と協力していく予定ということです。



釜石教会で行われているカリタス釜石「ふいりあ」

《岩手県》

- 大船渡教会：大船渡ベースの活動支援
  - 釜石教会：カリタス釜石ふいりあの場所提供
  - 上堂教会：カリタス釜石、宮古ベースの活動支援
  - 四ツ家教会：カリタス釜石、宮古ベースの活動支援
- 《宮城県》
- 米川教会：米川ベーススタッフへ司祭館提供（3月末終了）
- 《福島県》
- 二本松教会：NPO 法人福島やさい畑～復興プロジェクトへ場所提供、および支援

③被災地の物産品購入による支援

《宮城県》

- 北仙台教会：亘理教会のイチゴ販売支援
- 西仙台教会：教会で石巻の海産物販売、福島の野菜販売
- 東仙台教会：教会で、福島やさい畑、亘理のお豆腐屋さん、石巻の味噌、しょうゆなどの商品販売協力



震災1年後の追悼ミサ時に行われた支援販売（元寺小路教会）

④その他

《宮城県》

- 北仙台教会：  
チャリティーカフェ（火～土曜日の午後1時～3時）  
（開かれた教会を目指して、喫茶店をしている）  
仮設住宅でのお茶っことで知り合った被災者の方々との交流
- 西仙台教会：  
気仙沼・石巻にお米を送る活動  
被災地への買い物ツアー実施

《福島県》

- 二本松教会：  
福島の農家支援→2020年までは継続予定
  - 松木町教会：  
毎月「カリタスからのおたより」を宮代仮設に住んでいる方、住んでいた方へ配布
- 《全県》  
お祈りや募金・献金をしてくださっている教会が多々あります。



(上)北仙台教会のチャリティーカフェ  
(左)松木町教会「愛の支援グループ」が毎月発行しているおたより

次号では「アンケート報告 その2」として、今後の活動や後方支援についてご紹介いたします。ご期待ください。